

市役所新庁舎の具体的な

設計ができました

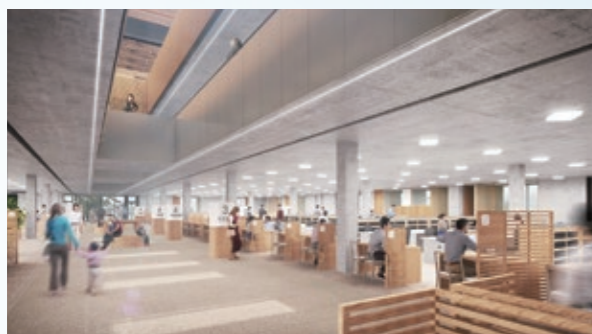
平成31年4月
開庁予定



3階 天草産木材による
ぬくもりのある空間
屋根には天草産の木材をふんだんに使うことで、軽量化を図るとともに、木のぬくもりが感じられる空間にします。
市議会の議場や委員会室、各種会議室などを配置する予定です。



2階 使いやすい執務スペース
合理的に部署を配置し、使いやすい空間にします。総務、総合政策、地域振興、建設、経済、教育などの部署や市長室などを配置する予定です。
中央に吹き抜けを作ることで、1階まで自然の光が届くようにします。



1階 分かりやすい市民の窓口
中央の通路を市民のフロアとし、両側に窓口を配置することで、見通しが良く分かりやすい空間にします。
戸籍や住民票、税金、子育て、福祉など市民の皆さんがよく利用される相談窓口になる部署を配置する予定です。

※写真は完成イメージです。色合いや機の配置などを変更する場合があります。

7月まで解体工事、その後新庁舎建設の工事を行う予定です。窓口の分散などにより、市民の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【問い合わせ先】本庁・庁舎建設推進室 ☎②1111

平成30年度末の本体工事完成を旨として建設の取り組みを進めている市役所の新庁舎。現在、本庁舎(新館)、別館、その他各所に分散している本庁機能がこの庁舎に統合されます。

このたび、新庁舎の具体的な設計図となる“実施設計”ができましたので、その概要をお知らせします。

■実施設計概要

- 階数=地上3階、塔屋1階
- 建築面積=3,741.26㎡
- 延面積=9,992.19㎡
- 構造種別=鉄筋コンクリート造、一部木造、免震構造
- 駐車場=230台
- 駐輪場=85台
- 昇降機=2基(エレベーター)

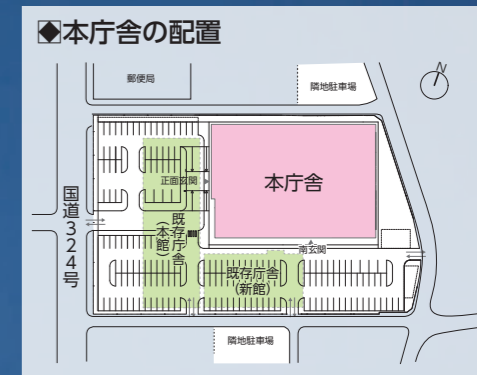
■特徴

◆周辺環境に配慮した外観

周辺の街並みに圧迫感を与えないように低層の庁舎とします。天草産の木材をふんだんに使い、使用した木材が外観から見えるようにします。

◆自然採光・自然換気

フロアの中央を吹き抜けにすることで、自然の光を採り入れ、下から上への空気の流れをつくって換気します。



◆より無駄のない平面計画

耐震壁を外周のみに配置し、建物内部の柱を小さくします。これにより内部の配置の自由度を高め、効率的な配置ができます。

◆地震に強い構造

地面と建物間に免震部材を設置し、揺れを緩和することで地震の影響を小さくすることができます。

